



人権集会

12月5日は、全校児童で「人権集会」を行いました。この集会は、毎年、人権に関する発表を異学年で伝え合うことにより、人権意識を高め、異学年で楽しくふれあうことを目的として行っています。集会・運営・いじめ防止委員会の司会進行で、初めに人権作文の発表がありました。学級で学習したことをもとに相手の立場に立って、気持ちを考えながら生活すること等をみんなの前で堂々と発表してくれました。各学年の発表では、歌や群読、劇等、学年で学習した内容に応じて工夫を凝らした素晴らしい発表を披露してくれました。

最後に全員で「ともだちになるために」の歌を手話をしながら歌いました。この集会では、子どもたち一人一人が真剣に人権について考えるいい機会になりました。これからも、自分自身を大切にすることと同じように周りの人も大切にすることを育てていきたいと思えます。



観劇

今年は、久しぶりに観劇を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響でなかなか実施できなかった観劇でしたが、劇団 歌舞人（かぶと）さんによる「アラジンと魔法のランプ」を観ました。劇は、1幕と2幕合わせて80分という長い時間でしたが、子どもたちは最初から最後まで集中して観ることができていました。体育館のステージ上で繰り広げられる白熱した演技や生の歌声、台詞の迫力に子どもたちからは大きな拍手が送られていました。また、物語の内容から自分の力で夢を叶えることや友情の大切さを学ぶこともできました。劇が終わった時の子どもたちの満足した表情がとても印象的でした。日頃は、難しいですが、時には生の演技や演奏を経験することも心を育てる上で大切であると感じました。



避難訓練

12月13日今年度初めての火災を想定した避難訓練を実施しました。この訓練は、乾燥した季節になり、火災が発生しやすい条件が揃っている冬場に毎年行っています。

訓練では、出火想定場所の連絡を受けた後、担任の指示に従い全員、運動場へ避難しました。事前に「お・は・し・も」お…押さない。は…（校舎内で）走らない。も…戻らない。し…しゃべらない。の指導を行っていたため、短時間で安全に避難することができました。地震や火事等の災害が発生した時に大切なことは、パニックにならないことです。落ち着いて状況を確認し、次の行動を判断することが大事になってきます。学校では、避難訓練を繰り返し行い、いざというときに備えています。ご家庭でも火事を出さないために気をつけることやもしもの時に備えて、避難の仕方等について話し合いをしておくといいと思えます。

